

■ 取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

■ Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

This product is designed and manufactured for use in Japan only.

We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside

Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

■ ご使用前に

- 本製品は一眼レフやコンパクトデジタルカメラのための撮影補助機材です。本来の用途以外に使用しないでください。
- 品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無いか確認してください。
- 本製品が破損した場合は、使用しないでください。
- 梱包用の袋は、乳幼児や小さなお子さまにとって窒息の危険がともないます。開封後は速やかに処分してください。

■ 製品仕様

対応カメラ：ネジ規格が 1/4 インチネジ採用のカメラ

対応カメラ重量：450g - 2,000g（レンズ重量含）

製品重量：約 410g（カウンターウェイト含まず）

主な材質：カーボンファイバー，アルミ合金

前後方向調整幅：75mm

左右方向調整幅：40mm

カウンターウェイト：A×3 個，B×3 個，C×3 個

製品サイズ：65mm × 60mm × 270mm（折りたたみ時）

原産国：中国

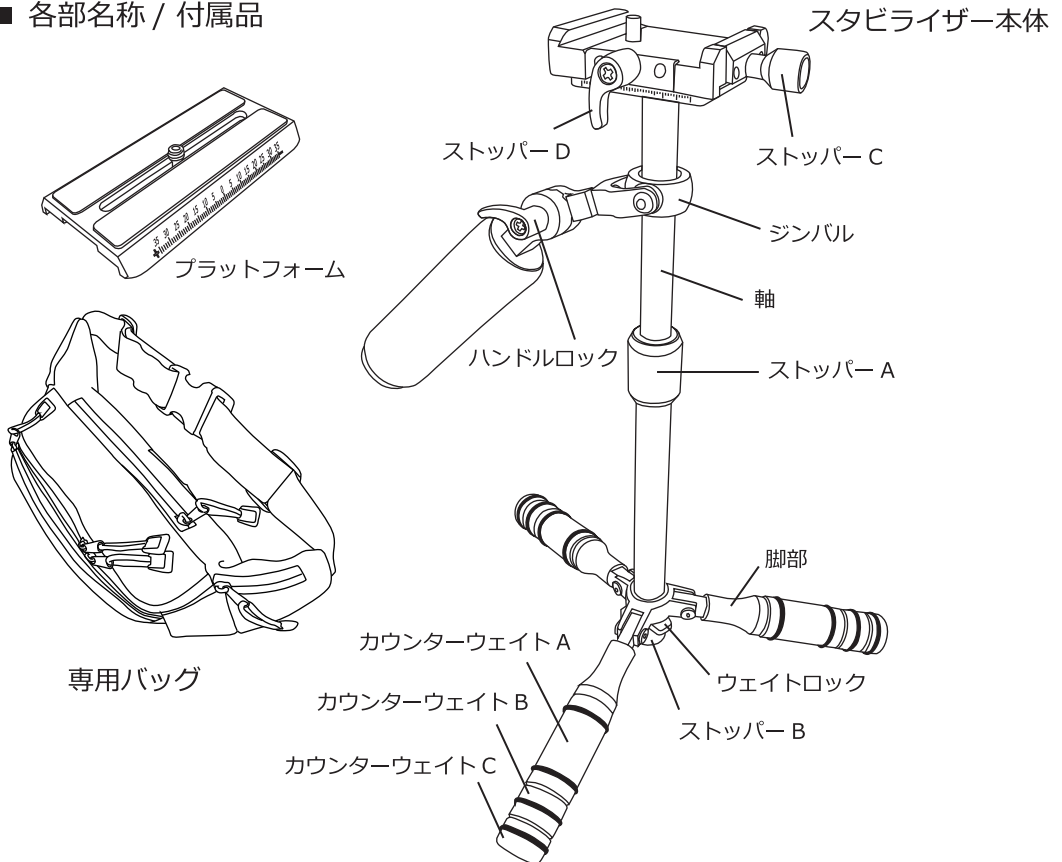


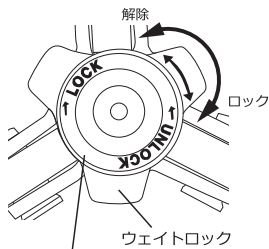
注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 調整時に各ストッパーを緩めすぎると部品の脱落、破損に繋がる恐れがあります。
製品の取り扱いには十分ご注意ください。
- 各ストッパーを解除せず無理に動かすと、プリントの剥離など製品を傷付ける恐れがあります。
- 調整後は各部をしっかりと固定してください。固定が不足している場合、思わぬ事故や機材や部品の落下に繋がる恐れがあります。
- 撮影時は周囲環境に注意してください。人との衝突や思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 高温の場所や濡れた状態で放置しないでください。変色や変形、製品の劣化の原因になります。
- 製品または付属品は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
製品の一部などを飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。

■ 各部名称 / 付属品





ウェイトロックストッパー
図1 [ウェイトロック・解錠状態]

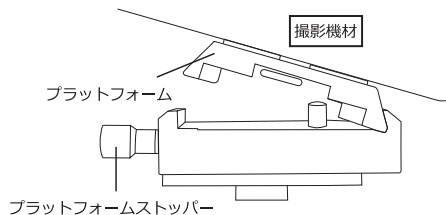


図2 [プラットフォーム取り付け]

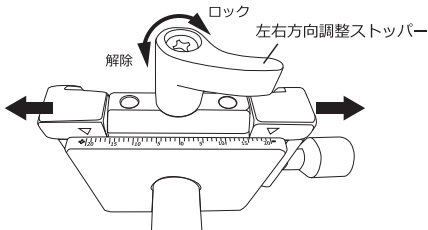


図3 [左右方向調整ストッパー]

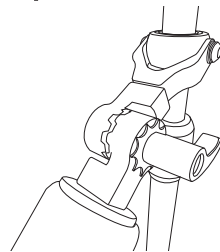


図4 [ハンドルロック]

■ 設定方法

[取付方法]

1. 使用する撮影機材にプラットフォームを取付けます。
Point - 撮影機材の重心がプラットフォームの真ん中にくるように取付けます。
また、モニターやズームなどを撮影可能な状態にセッティングしてから設定を行います。
2. スタビライザーのストッパー A を緩め、軸を最大目盛りまで伸ばします。
3. ストッパー B を緩めウェイトロックを解除し、脚部を広げます。(図 1)
4. 脚部をロックしストッパー B を締め、固定します。(図 1)
5. ストッパー C を緩め、機材を取付けます。(図 2) 再びストッパー C を締め、固定します。

[調整方法]

1. 前後方向の調整
機材前後方向の重さが釣り合う位置が軸の真上にくるように、プラットフォームの位置を調整します。
例) 前方向に傾く場合 ストッパー C を緩め、プラットフォームを後方向にずらす。
2. 左右方向の調整
機材左右方向の重さが釣り合う位置が軸の真上にくるように、プラットフォームの位置を調整します。(図 3)
例) 左方向に傾く場合 ストッパー D を緩め、プラットフォームを右方向にずらす。
3. ドロップタイムの調整
ジンバルとカウンターウェイトとの距離を変えることで、ドロップタイムを調整します。
Point - ジンバルを支点に水平状態から垂直になるまで、1～2秒が目安です。
Point - 上下方向の調整で適切なドロップタイムに設定できない場合は、カウンターウェイトを機材重量に合わせて調整します。
例) ドロップタイムが遅い場合 ストッパー A を緩め、ジンバルと脚部の距離を長くする。
4. 完璧にバランスがとれるまで1～3の微調整を繰り返して行います。
Point - 微調整では、1目盛りに満たない範囲での調整でバランスが変わるので慎重に行ってください。
Point - ドロップタイムを確認する際、機材が回転してしまう場合は、前後左右のバランスが取れていないため、再度調整が必要です。
5. 最後にハンドルをお好みの角度に調節して設定完了です。(図 4)